

平成 26 年 3 月期 第 1 四半期決算短信（非連結）

平成 25 年 8 月 9 日

会 社 名 株式会社 富士テクノソリューションズ

グリーンシート銘柄

コード番号 2336

本社所在都道府県 神奈川県

本社所在地 神奈川県厚木市中町 4-10-8

問い合わせ先 責任者役職名 取締役

氏 名 岩澤 隆則

TEL (046) 294-1061

1. 平成 26 年 3 月期第 1 四半期の業績（平成 25 年 4 月 1 日～平成 25 年 6 月 30 日）

- (注) 1. 本四半期決算短信の数値は、未監査です。
 2. 本四半期決算短信の数値は、税効果会計の適用等、所要の会計上の修正を行っておりません。
 3. 千円未満は切り捨てて表示しております。

(1) 経営成績

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益	
	千円	%	千円	%	千円	%
26 年第 1 四半期	329,450	(△12.2)	3,853	(△54.5)	1,249	(△78.5)
25 年第 1 四半期	375,262	(19.3)	8,477	(130.9)	5,796	(314.0)

	当 期 純 利 益		1 株 当 たり 当 期 純 利 益	潜在株式調整後 1 株 当 たり 当 期 純 利 益	自 己 資 本 当 期 純 利 益 率	総 資 産 経 常 利 益 率	売 上 高 経 常 利 益 率
	千円	%	円 銭	円 銭	%	%	%
26 年第 1 四半期	1,249	(△78.5)	154.68	—	25.8	0.2	0.3
25 年第 1 四半期	5,796	(314.0)	717.73	—	22.7	0.8	1.5

- (注) 1. 期中平均株式数 26 年第 1 四半期 8,076 株 25 年第 1 四半期 8,076 株
 2. 会計処理の方法の変更 無
 3. 売上高、営業利益、経常利益、当期純利益におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率
 4. 潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益については、期中平均株価の把握が困難なため、記載を省略しております。

(2) 財政状態

	総 資 産		純 資 産		自 己 資 本 比 率	1 株 当 たり 純 資 産
	千円	千円	千円	千円	%	円 銭
26 年第 1 四半期	623,809	5,472	5,472	5,472	0.9	677.60
25 年第 1 四半期	743,722	28,448	28,448	28,448	3.8	3,522.64

- (注) 期末発行済株式数 26 年第 1 四半期 8,076 株 25 年第 1 四半期 8,076 株

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期 末 残 高
	千円	千円	千円	千円
26年第1四半期	△5,350	△4,322	△33,702	151,438
25年第1四半期	25,888	1,946	55,484	309,265

2. 平成26年3月期の業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり年間配当金（円）				
				第1四半期	中間期末	第3四半期	期末	年間
	千円	千円	千円					
通 期	1,700,000	51,000	50,000	—	—	—	0 0	0 0

（参考）1株当たり予想当期純利益（通期） 6,191円18銭

上記に記載した予想数値は、現時点での入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

第 38 期 第 1 四半期報告書

(平成 25 年 4 月 1 日から平成 25 年 6 月 30 日まで)

会社名(定款上の商号)	株式会社 富士テクノソリューションズ
英文名(英文商号)	Fuji Techno Solutions Co., Inc.
コード番号	2336
代表者の役職氏名	代表取締役 高井 男
本店の所在の場所	神奈川県厚木市中町 4-10-8
電話番号	046-294-1061
連絡者	取締役 岩澤 隆則

I 四半期の業績

(1) 損益計算書

(単位：千円)

科 目	期 別	当期累計	前年同期累計
	第 38 期 第 1 四半期 自平成 25 年 4 月 1 日 至平成 25 年 6 月 30 日	自平成 25 年 4 月 1 日 至平成 25 年 6 月 30 日	自平成 24 年 4 月 1 日 至平成 24 年 6 月 30 日
I 売 上 高	329,450	329,450	375,262
II 売 上 原 価	258,198	258,198	294,853
売上総利益	71,252	71,252	80,408
III 販売費及び一般管理費	67,398	67,398	71,931
営業利益	3,853	3,853	8,477
IV 営業外収益	825	825	897
V 営業外費用	3,430	3,430	3,578
経常利益	1,249	1,249	5,796
税引前四半期(当期)純利益	1,249	1,249	5,796
法人税、住民税及び事業税	—	—	—
四半期(当期)純利益	1,249	1,249	5,796

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(注)

科 目	期 別	当期累計	前年同期累計
	第 38 期 第 1 四半期 自平成 25 年 4 月 1 日 至平成 25 年 6 月 30 日	自平成 25 年 4 月 1 日 至平成 25 年 6 月 30 日	自平成 24 年 4 月 1 日 至平成 24 年 6 月 30 日
期中平均株式数	8,076 株	8,076 株	8,076 株
1 株当たり四半期(当期)純利益	154 円 68 銭	154 円 68 銭	717 円 73 銭
潜在株式調整後 1 株当たり四半期(当期)純利益	—	—	—

※潜在株式調整後 1 株当たり四半期(当期)純利益については、期中株価の把握が困難なため、記載を省略しております。

(2) 事業部門別売上高

(単位：千円)

事業の種類	期別 第38期 第1四半期 自平成25年4月1日 至平成25年6月30日	当期累計 自平成25年4月1日 至平成25年6月30日	前年同期累計 自平成24年4月1日 至平成24年6月30日
情報処理請負事業	163,135	163,135	214,056
技術者派遣事業	143,347	143,347	146,197
フロタクト販売事業	22,968	22,968	15,008
合計	329,450	329,450	375,262

(3) 貸借対照表

(単位：千円)

期 別	第 37 期末	第 38 期 第 1 四半期
科 目	(平成 25 年 3 月 31 日現在)	(平成 25 年 6 月 30 日現在)
(資 産 の 部)		
I 流動資産		
1. 現金及び預金	194,814	151,438
2. 受取手形	9,425	8,397
3. 売掛金	194,077	184,704
4. 仕掛品	45,899	49,722
5. 前払費用	15,042	28,502
6. 前渡金	37,178	37,059
7. 短期貸付金	12,798	17,457
8. その他流動資産	10,060	12,434
流動資産合計	519,295	489,716
II 固定資産		
1. 有形固定資産		
(1) 建物	5,509	5,276
(2) 車輛運搬具	0	0
(3) 器具備品	3,708	3,475
有形固定資産合計	9,217	8,752
2. 無形固定資産		
(1) ソフトウェア	11,334	11,032
(2) リース資産	7,491	7,028
(3) その他	1,397	1,397
無形固定資産合計	20,223	19,459
3. 投資その他の資産		
(1) 投資有価証券	1,205	1,205
(2) 関係会社株式	7,900	7,900
(3) 保険積立金	22,242	23,083
(4) 差入敷金保証金	24,114	24,115
(5) 会員権	15,796	15,796
(6) 長期前払費用	3,780	3,433
(7) 長期性預金	2,221	1,920
(8) 長期貸付金	32,121	32,213
(9) その他投資等	30	30
貸倒引当金	△5,475	△5,475
投資その他の資産合計	103,936	104,224
固定資産合計	133,377	132,435
III 繰延資産		
社債発行費	2,171	1,656
繰延資産合計	2,171	1,656
資 産 合 計	654,844	623,809

科 目	期 別	第 37 期末	第 38 期
		(平成 25 年 3 月 31 日現在)	第 1 四半期 (平成 25 年 6 月 30 日現在)
(負 債 の 部)			
I 流動負債			
1. 買 掛 金		20,458	20,205
2. 短期借入金		150,000	140,900
3. 1年以内返済予定の長期借入金		48,820	48,820
4. 1年以内償還予定社債		48,000	48,000
5. 未 払 金		59,175	60,811
6. 未 払 費 用		29,931	30,698
7. リ ー ス 債 務		1,838	1,863
8. 未 払 法 人 税 等		891	—
9. 未 払 消 費 税 等		12,163	12,107
10. 預 り 金		1,871	2,284
11. その他流動負債		2,800	2,364
流動負債合計		375,950	368,054
II 固定負債			
1. 長期借入金		182,230	170,266
2. 社 債		27,600	16,800
3. 退職給付引当金		56,754	55,605
4. 長期未払金		1,856	1,856
5. リ ー ス 債 務		6,229	5,754
固定負債合計		274,670	250,282
負債合計		650,621	618,337
(純資産の部)			
I 株主資本			
1. 資 本 金		81,865	81,865
2. 資本剰余金			
(1)資本準備金		2,180	2,180
資本剰余金合計		2,180	2,180
3. 利益剰余金			
(1)利益準備金		1,021	1,021
(2)その他利益剰余金			
繰越利益剰余金		△80,665	△79,416
利益剰余金合計		△79,643	△78,394
株主資本合計		4,402	5,651
II 評価・換算差額等			
有価証券評価差額金		△179	△179
純資産合計		4,223	5,472
負債・純資産合計		654,844	623,809

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(注)

科 目	期 別	第 37 期末	第 38 期
		(平成 25 年 3 月 31 日現在)	第 1 四半期 (平成 25 年 6 月 30 日現在)
発行済株式総数		8,076 株	8,076 株
1 株当たり純資産額		522 円 92 銭	677 円 60 銭

(4)株主資本等変動計算書

(単位：千円)

項目	株主資本				株主資本 合計	評価・換算差額等		純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益剰余金			有価証券 評価 差額金	評価・ 換算 差額等 合計	
		資本 準備金	利益 準備金	その他利益 剰余金 繰越利益 剰余金				
平成 25 年 4 月 1 日残高	81,865	2,180	1,021	△80,665	4,402	△179	△179	4,223
第 1 四半期の 変動額								
四半期純利益	—	—	—	1,249	1,249	—	—	1,249
株主資本以外 の項目の変動 額(純額)	—	—	—	—	—	—	—	—
第 1 四半期の 変動額合計	—	—	—	1,249	1,249	—	—	1,249
平成 25 年 6 月 30 日残高	81,865	2,180	1,021	△79,416	5,651	△179	△179	5,472

(5) 貸借対照表及び損益計算書の作成の基本となる事項

四半期の貸借対照表及び損益計算書の作成の基礎としている会計処理の原則及び手続は、下記事項を除き正規の決算において採用している基準と同一のものを適用しております。正規の決算において採用している会計方針は「会社内容説明書 第 5 経理の状況 (4) 個別注記表 ①重要な会計方針に係る事項に関する注記」をご参照下さい。

事業年度の貸借対照表及び損益計算書の作成のために採用している会計処理の原則及び手続と異なる会計処理の基準は次のとおりです。

1. 固定資産の減価償却の方法 各四半期の減価償却費は年間発生見積額の 4 分の 1 に該当する金額を計上しております。
2. 法人税、住民税及び事業税の計上基準 当四半期においては、計上を省略しております。
3. 消費税の会計処理 消費税等は仮払消費税等を其他流動資産に、仮受消費税等を其他流動負債に含めて表示しております。

なお、当該四半期の貸借対照表及び損益計算書並びに株主資本等変動計算書については、公認会計士の監査を受けておりません。

(6) 会計方針の変更

該当事項はありません。

II 第38期第1四半期（平成25年4月1日から平成25年6月30日）の業績の概況

当四半期におけるわが国経済は、新政権の経済対策と日銀による金融緩和策の期待感から、円安株高基調に推移したことにより、景気は回復の動きが見られました。しかしながら、中国経済の成長鈍化や欧州経済の低迷など海外経済の減速懸念や円安進行による原材料価格の上昇など国内景気の不安要素もあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社の主要顧客であります大手製造業においては、経済動向に左右されることなく次代を見据えた技術開発投資が持続されていると認識しています。先行開発に関する投資を継続しており、技術開発や製品設計に対応可能な高いスキルをもつ技術者に対する需要は高い状況で推移しました。

このような厳しい経営環境下のなか、当社は「モノづくり支援のトータルソリューション」をキーワードに、引き続き製造業に対して情報処理支援の提供を推進いたしました。

分野別にみますと、情報処理請負事業につきましては、工作機械企業中心に受注の減少により、売上高は、163,135千円（前年同期比23.8%減）となりました。

技術者派遣事業につきましては、稼働人員の減少により、売上高は143,347千円（前年同期比1.9%減）となりました。

プロダクト販売は、製造業の設備投資の回復により、売上高は、22,968千円（前年同期比53.0%増）となりました。

この結果、当四半期につきましては、売上高329,450千円（前年同期比12.2%減）となりました。利益面につきましては、売上高減少に伴う売上総利益の減少を補うため販売費及び一般管理費の削減に努めましたが、営業利益3,853千円（前年同期比54.5%減）、経常利益1,249千円（前年同期比78.5%減）、当四半期の四半期純利益1,249千円（前年同期比78.5%減）となりました。

III 第38期通期の売上高及び利益の予測について

第38期通期の売上及び利益の予測につきまして、前回の発表からの変更はありません。

（単位：千円）

科 目	期 別	第37期（実績）	第38期（予想）
		〔 自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日 〕	〔 自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日 〕
売 上 高		1,429,884	1,700,000
経常利益又は経常損失（△）		△17,538	51,000
当期純利益又は当期純損失（△）		△18,429	50,000

IV 資金及び借入金状況

(1) 現金及び預金の増減

（単位：千円）

科 目	期 別
	第38期 第1四半期 自平成25年4月1日 至平成25年6月30日
現金及び預金の増減額	△43,376
現金及び預金の四半期首残高	194,814
現金及び預金の四半期末残高	151,438

（主な増減理由）

税引前四半期純利益1,249千円、売掛金の減少9,373千円、仕掛品の増加3,823千円、前払費用の増加13,460千円、短期貸付金の増加4,659千円、短期借入金の減少9,100千円、長期借入金の減少11,964千円、社債の減少10,800千円が主な要因であります。

(2) 短期借入金の増減

(単位：千円)

科 目	期 別	第 38 期 第 1 四半期
		自平成 25 年 4 月 1 日 至平成 25 年 6 月 30 日
短期借入金の増減額		△9,100
短期借入金の四半期首残高		150,000
短期借入金の四半期末残高		140,900

(主な増減理由)

約定返済による減少です。

(3) 長期借入金の増減

(単位：千円)

科 目	期 別	第 38 期 第 1 四半期
		自平成 25 年 4 月 1 日 至平成 25 年 6 月 30 日
長期借入金の増減額		△11,964
長期借入金の四半期首残高		231,050
長期借入金の四半期末残高		219,086

(主な増減理由)

約定返済による減少です。

(注) 長期借入金は1年以内返済予定の長期借入金を含んでおります。

V その他

該当事項はありません。